

# 防 除 情 報

長崎県病害虫防除所長

平成17年度病害虫発生 防除情報第17号

## 麦類 赤かび病の防除について

3月24日付け発表の気象予報によると向こう1か月の気温、降水量ともに平年並と予想されていますが、出穂期以降の気象次第では発生が多くなることも考えられますので以下の点に留意して防除指導の徹底をお願いします。

### 記

#### 防除対策

- (1) 本病は出穂期以降に気温が高く降雨が続くと多発するので特に出穂期以降の気象に注意する。
- (2) 薬剤散布は防除適期である開花最盛期に行う。開花最盛期とその7～10日後の2回行うと防除効果が高まる。
- (3) 発病を認めてからの薬剤防除は効果が劣るので麦の生育ステージを把握し適期防除を行う。総合農林試験場(諫早市)においては出穂期は平年並～やや遅い見込みとなっているが、生育ステージは今後の気温や圃場によっても異なってくるので圃場の見回りに努める。
- (4) 本病防除の主要薬剤であるチオファネートメチル剤は昨年登録内容が変更され、使用時期及び使用回数が表2のとおりとなったので登録内容を十分確認の上使用する。

表1 各品種の出穂期(総合農林試験場、諫早市)

品 種 名	出穂期(平年値)
ニシノチカラ	3月31日
ニシノホシ	3月30日
イチバンボシ	3月30日
御 島 裸	4月 7日
チクゴイズミ	4月 7日
シロガネコムギ	4月 7日

注) H13～17年の平均

表2 チオファネートメチル剤の使用時期と回数

薬 剤 名	作 物 名	使 用 時 期	本 剤 の 使 用 回 数
トップジンM粉剤 トップジンM水和剤	小麦	収穫14日前まで	3回以内 ( <u>出穂期以降は1回以内</u> )
	麦類(小麦を除く)	収穫30日前まで	